

下小岩第二小学校応援団実践報告書

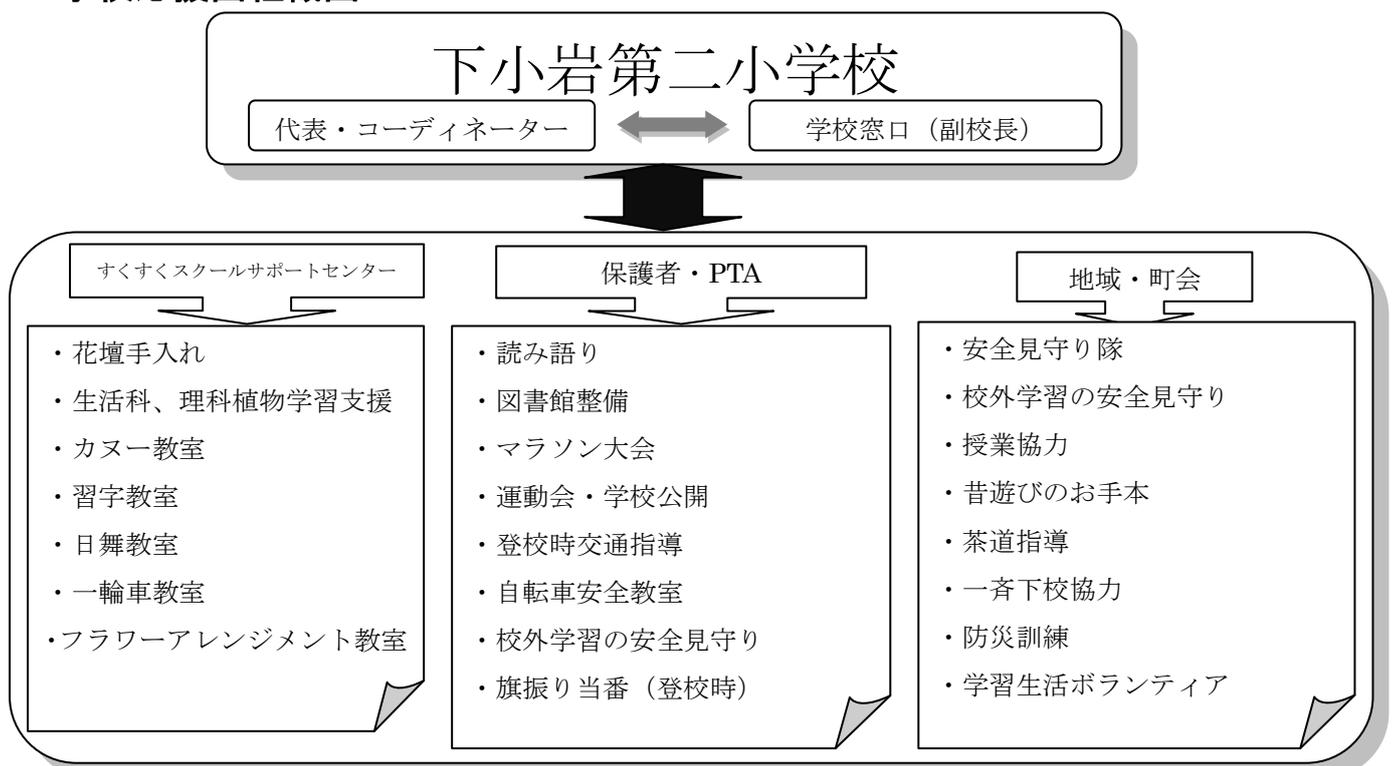
1 校長及び代表者氏名

江戸川区立下小岩第二小学校 校長 加藤 英雄
代表 鮎澤 正和

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	旗振り 朝の交通見守り 安全教室 校外学習の引率 マラソン大会	○登校時の安全を見守る。 ○通学路で登校の安全を見守る。 ○交通安全教室等でのお手伝い。 ○校外学習をするときの安全支援 ○マラソンコースの安全確保
学習活動	昔遊びお手本 家庭科学習支援 調理実習支援 生活科学習支援 そろばん指導 凧づくり支援	○昔遊びの支援をして、一緒に楽しむ。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○安全を見守り技術指導の支援をする。 ○小松菜栽培の指導や体験の支援 ○算数学習のそろばんの支援 ○社会科学習等で戦争について語る。
読者活動	読み聞かせ 図書室整備 研修会企画運営	○学級に入って本の読み聞かせをする。 ○本の修理や本の整頓を行う。 ○読み聞かせボランティアのスキルアップ

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- (1) 従来も活発だった地域の方々の活動を、拾い出し、まとめ、分類し充実させることができた。
- (2) 地域と連携する中で、学校の様子を知らせることができ、学校との距離が一層縮まった。
- (3) 小 P 連一斉パトロールや書き初め練習補助へ大勢の地域の方々が協力していただいたことで、地域に対する教職員の意識が高まった。
- (4) 今年度の積み重ねを生かし、無駄にしないよう来年度更に充実させ継続していきたい。

<課題>

- (1) 教育課程内の活動へさらに、地域の教育力を導入する。
- (2) 担任が中心となり、学習活動を展開する能力を向上させる。
- (3) 代表、コーディネーターの後任者の小 P 連一斉パトロールや書き初め練習補助へ大勢の地域の方々が協力していただいたことで、地域力の人材発掘。
- (4) 校内の窓口を、校務分掌に位置づける。

5 代表より

本年度も、子供たちのために様々な支援を行うことができました。

子供たちに向き合うのは、先生方であり、その支援を周りの大人がどこまでできるかが大事であります。

本校は、伝統的に保護者、地域の皆さんが学校に協力的で、どの子供も一緒に育てていこうという意識が、強いです。この特性を生かしさらに充実した学校応援団の活動を進めていきたいと思っております。

ご協力いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。来年度もご理解とご協力をぜひよろしくお願いいたします。

6 学校長より

学校を開き、子供のよりよい学びのために学校応援団の皆様から多大なるご協力をいただきありがとうございます。特に学校行事への協力、学習活動への協力では、子供たちの豊かな学習環境を整えていただきありがとうございます。

読書ボランティアの「ブック・バード」さんは、今年度から本格的に活動を始めていただきました。研修会を開催したり、壁新聞を作成したり、保護者と子供たちのために大活躍でした。

教職員一同感謝いたしております。

来年度も区と連携し、多くのボランティアの皆さんと子供たちのために学校を舞台にして活動の充実を図っていききたいと思います。ありがとうございました。

